

ごあいさつ

本市の水道は、1955（昭和30）年から1963（昭和38）年にかけて建設された小規模簡易水道がその始まりです。

その後、1967（昭和42）年に水道事業を創設して以来、市勢の発展とともに増大してきた水需要に応えるため、3期にわたる拡張事業を実施してまいりました。

現在の水道普及率は、99.9%と市民生活にとって欠かせないライフラインとなっています。

さて、本市の水道事業を取り巻く環境は、人口の減少を始め、節水意識の浸透や節水機器の普及などを背景とした水需要の低迷による料金収入の減少に加え、老朽化した水道施設の更新や東日本大震災等の大規模災害を教訓とした施設整備等に多額の費用が見込まれるなど厳しさを増しています。

こうした経営環境の中、今後も市民の皆様へ安全で安心な水道水を持続的に供給していくためには、事業の一層の効率化と経営基盤の強化が求められます。

そのため、水道事業の現状と将来の見通しを分析、評価し、水道事業の方向性を示す将来像を掲げ、今後も持続可能な水道とするための施策目標や実現方を定めるとともに、今後10年間の投資や財政の見通しなどをまとめた「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」の策定をしました。

本計画の基本理念である「安全な水で暮らしをささえ、未来へつなぐ小牧の水道」の実現に向け、より市民の皆様へ満足していただける水道サービスの提供に努めてまいりたいと考えています。

市民の皆様におかれましては、水道事業の推進にあたり、今後ともご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言を賜りました小牧市水道事業経営懇話会委員の皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。



令和2年3月

小牧市水道事業

小牧市長 山下史守朗